

平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成 19 年 1 月 30 日

上場会社名 ソマール株式会社

(コード番号: 8152 東証第 2 部)

(URL http://www.somar.co.jp)

代 表 者 代表取締役社長 都田 康弘

(TEL: (03) 3542-2152)

問合せ先責任者 経理部長 臼田 伸

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容)
・法人税等の計上基準……簡便な方法により計算しております。
- ②最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績の進捗状況

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期 第 3 四半期	28,018	△0.8	883	△22.8	866	△25.4	793	△13.8
18 年 3 月期 第 3 四半期	28,232	3.8	1,144	178.0	1,162	198.1	920	146.4
(参考) 18 年 3 月期	37,892		1,413		1,417		1,174	

	1 株当たり 四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19 年 3 月期 第 3 四半期	40.69	—
18 年 3 月期 第 3 四半期	47.16	—
(参考) 18 年 3 月期	60.18	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期のわが国経済は、米国経済の動向や原油などの原材料価格については引き続き留意する必要があるものの、依然として堅調な需要による企業収益の改善を背景に設備投資は積極的に行われており、景気の回復基調はより鮮明になってきています。

このような情勢下、当社は高付加価値製品へ経営資源を投入し強靱な収益基盤を確立するため、ビジネス拡大とその強化として、電子部品業界向けの積極的な販売活動や、より高付加価値なコーティング製品の生産・販売に向けた生産設備を増強し、高機能フィルムの海外を中心とした需要の急増に対応したことや、高機能樹脂製品も自動車電装部品向けが堅調に推移し、それぞれ増収となりました。しかし一部の製品で、供給過剰による海外での在庫調整や価格競争激化の影響を受け大幅な減収となり、売上高は 280 億 1 千 8 百万円 (前年同期比 0.8% 減) の減収となりました。利益面でも、一層の生産性の向上、コスト削減等の諸施策を鋭意実施に努めましたが、一部の製品で需要減少の煽りを受けたことにより、販売数量及び価格の下落に伴い利益が減少したため、営業利益は 8 億 8 千 3 百万円 (前年同期比 22.8% 減)、経常利益は 8 億 6 千 6 百万円 (前年同期比 25.4% 減) となりました。税引前第 3 四半期純利益については、長期にわたる運用結果として、投資有価証券の満期償還に伴う利益計上等により、10 億 8 千 9 百万円 (前年同期比 16.2% 増) の増益となりましたが、第 3 四半期純利益については、税務上の繰越欠損金解消に伴い法人税等の負担が増加したため、当第 3 四半期純利益は 7 億 9 千 3 百万円 (前年同期比 13.8% 減) の減益となりました。

次に、営業の状況についてご説明申し上げます。

[仕入販売]

製紙用化学品 製紙業界の市況が順調に推移するなか、紙塗工用バインダーは販売価格の上昇があったものの、一部の顧客でシェアダウンがあったため減収となりました。紙塗工用バインダー以外の製紙用化学品が横ばいで推移したため、全体では売上高は前年同期比 2.4%減の 65 億 6 千万円となりました。

電子材料 フレキシブル回路基板はそのベース材であるポリイミドフィルムの供給が安定しており、海外携帯電話の第三代交代需要やハイエンド機の高い伸びがありました。また国内においてはナンバーポータビリティーやワンセグ携帯の買い替え需要及びパソコンやAV用 HDD、ゲーム機等が堅調に推移しました。またリジッド基板の回路形成用フィルムも携帯電話などデジタル機器向けが堅調に推移し増収となりました。しかし、プラズマテレビ向け回路材料は海外市場の大幅な在庫調整が入り減収となりました。電気絶縁材料用アラミッド材は各種駆動機器の小型化に伴う耐熱材料として広く採用されており、家電・自動車・産業機器・車両・重電向けが堅調に推移し増収となり、全体では売上高は前年同期比 1.0%減の 84 億 1 百万円となりました。

機能性樹脂 熱硬化性樹脂は、薄型テレビを筆頭に家電、OA機器、自動車部品等の急速なるデジタル化の流れを受け、半導体やパッケージ基板が好調に推移し、又、今後引き続き期待ができる電子回路関係に新規樹脂の採用もあり増収となりました。熱可塑性樹脂は自動車業界の安定生産と高機能対応家電向けのエンブラ材料が新規採用され増収となり、全体では売上高は前年同期比 9.5%増の 45 億 9 千 3 百万円となりました。

その他 食品材料は、加工食品向けの増粘安定剤の販売が堅調に推移し増収となりましたが、その他で需要減少の影響を受け減収となり、全体では売上高は前年同期比 1.3%減の 12 億 3 百万円となりました。

[製造販売]

コーティング製品 高機能フィルムは、フレキシブル回路基板向けが引き続き好調に推移しました。特に台湾、中国の需要が大きく増えた事に加え、積極的な新規市場開発により新しい製品の投入や新規顧客の獲得など市場ニーズに適した製品提供を行った結果増収となりました。画像用フィルムは、設計・複写業界での公共投資削減等の影響を受け、減収となりました。この結果、コーティング製品全体では売上高は前年同期比 12.5%増の 26 億 7 千 8 百万円となりました。

高機能樹脂製品 電気絶縁用樹脂は、自動車電装品及び電子部品向けの需要が堅調に推移したことに加え、新規採用もあり、若干の増収となりました。しかし、液晶関連ビジネスが、海外市況の価格下落の煽りを受け、大幅な減収となりました。全体では売上高は前年同期比 2.9%減の 28 億 6 千 6 百万円となりました。

ファインケミカルズ 工業用殺菌剤は、新規グレードの実績化が遅れたため減収で推移するなか、新規開発製品の歩留剤・凝結剤を積極的に販売した結果、全体では売上高は前年同期比 15.7%増の 11 億 2 千 3 百万円となりました。

その他 フレキシブル回路基板用ベース材は、海外エンドユーザーの需要減少が顕著となり、また価格競争激化の影響を受け大幅な減収となり、売上高は前年同期比 55.0%減の 5 億 8 千 9 百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期 第3四半期	31,094	16,961	54.6	869.89
18年3月期 第3四半期	29,648	16,218	54.8	831.27
(参考) 18年3月期	28,775	16,673	57.9	854.82

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期 第3四半期	1,909	△ 2,102	1,025	2,500
18年3月期 第3四半期	699	△ 1,065	317	1,636
(参考) 18年3月期	1,031	△ 1,338	291	1,668

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における現金及び現金同等物は前期末に比べて8億3千2百万円増加し、25億円となりました。なお、各項目の増減は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、19億9百万円の資金の増加となりました。その主な要因は、税引前四半期純利益が10億8千9百万円となり、減価償却費を3億7千4百万円それぞれ計上したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、21億2百万円の資金の減少となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得に3億2千3百万円、無形固定資産の取得に1億4千4百万円を支出し、さらに関係会社株式の取得に16億1千6百万円支出したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、10億2千5百万円の資金の増加となりました。長期借入金の返済に3億8千7百万円、配当金の支払いに1億8千3百万円を支出したものの、長期借入れにより16億円の資金調達をしたことによるものであります。

3. 平成19年3月期の業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	39,000	1,300	1,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 51円29銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当第3四半期における業績は、概ね計画通りに推移しており、業績予想に修正はありません。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

[添付資料]

・四半期財務諸表等

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別 平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末	前年同四半期 平成 18 年 3 月期 第 3 四半期末	増 減		(参考) 平成 18 年 3 月期
			金 額	増減率	金 額
(資産の部)				%	
流動資産					
現金及び預金	2,500	1,636	863		1,668
受取手形	458	637	△ 179		655
売掛金	12,591	13,707	△1,115		12,326
有価証券	393	—	393		—
たな卸資産	2,764	2,515	249		2,642
繰延税金資産	28	190	△ 161		125
その他	486	207	278		121
貸倒引当金	△ 19	△ 27	8		△ 24
流動資産合計	19,204	18,867	336	1.8	17,515
固定資産					
有形固定資産					
建物	2,040	2,129	△ 89		2,080
機械及び装置	921	1,054	△ 133		1,007
土地	239	240	△ 0		240
その他	415	324	91		306
有形固定資産合計	3,616	3,748	△ 131	△ 3.5	3,634
無形固定資産					
ソフトウェア	17	20	△ 3		20
ソフトウェア仮勘定	199	—	199		199
その他	4	5	△ 0		5
無形固定資産合計	221	26	195	752.3	225
投資その他の資産					
投資有価証券	4,290	5,417	△1,126		5,778
関係会社株式	2,095	—	2,095		—
差入保証金	1,577	1,505	72		1,537
その他	154	157	△ 3		156
貸倒引当金	△ 66	△ 74	7		△ 72
投資その他の資産合計	8,051	7,005	1,045	14.9	7,399
固定資産合計	11,890	10,780	1,109	10.3	11,259
資産合計	31,094	29,648	1,455	4.9	28,775

(単位：百万円)

科 目	期 別	当 四 半 期	前 年 同 四 半 期	増 減		(参考)
		平成 19 年 3 月期 第 3 四 半 期 末	平成 18 年 3 月期 第 3 四 半 期 末	金 額	増 減 率	平成 18 年 3 月期 金 額
		金 額	金 額	金 額	%	金 額
	(負債の部)					
	流動負債					
	支払手形	101	811	△ 710		684
	買掛金	8,128	7,845	283		6,556
	一年以内返済予定長期借入金	150	250	△ 100		387
	未払金	749	680	68		567
	未払法人税等	500	24	475		40
	賞与引当金	101	72	28		190
	設備関係支払手形	0	81	△ 80		133
	その他の	52	52	△ 0		12
	流動負債合計	9,783	9,818	△ 34	△ 0.4	8,572
	固定負債					
	長期借入金	3,050	1,750	1,300		1,600
	退職給付引当金	593	683	△ 90		679
	役員退職慰労引当金	74	118	△ 44		124
	繰延税金負債	622	1,049	△ 427		1,115
	その他の	9	9	0		9
	固定負債合計	4,349	3,611	738	20.4	3,528
	負債合計	14,133	13,430	703	5.2	12,101

(単位：百万円)

科 目	期 別 当 四 半 期 平成 19 年 3 月期 第 3 四 半 期 末	前 年 同 四 半 期 平成 18 年 3 月期 第 3 四 半 期 末	増 減		(参考) 平成 18 年 3 月期
			金 額	金 額	金 額
(純 資 産 の 部)					
株 主 資 本					%
資 本 金	5,115	—	—	—	—
資 本 剰 余 金					
資 本 準 備 金	4,886	—	—	—	—
利 益 剰 余 金					
1. 利 益 準 備 金	419	—	—	—	—
2. そ の 他 利 益 剰 余 金					
(1) 別 途 積 立 金	2,100	—	—	—	—
(2) 繰 越 利 益 剰 余 金	2,894	—	—	—	—
利 益 剰 余 金 合 計	5,414	—	—	—	—
自 己 株 式	△ 30	—	—	—	—
株 主 資 本 合 計	15,385	—	—	—	—
評 価 ・ 換 算 差 額 等					
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,575	—	—	—	—
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	0	—	—	—	—
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	1,576	—	—	—	—
純 資 産 合 計	16,961	—	—	—	—
負 債 ・ 純 資 産 合 計	31,094	—	—	—	—
(資 本 の 部)					
資 本 金	—	5,115	—	—	5,115
資 本 剰 余 金					
資 本 準 備 金	—	4,886	—	—	4,886
利 益 剰 余 金					
1. 利 益 準 備 金	—	419	—	—	419
2. 任 意 積 立 金					
(1) 別 途 積 立 金	—	2,100	—	—	2,100
3. 四 半 期 (当 期) 未 処 分 利 益	—	2,042	—	—	2,296
利 益 剰 余 金 合 計	—	4,562	—	—	4,816
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	—	1,677	—	—	1,882
自 己 株 式	—	△ 22	—	—	△ 26
資 本 合 計	—	16,218	—	—	16,673
負 債 ・ 資 本 合 計	—	29,648	—	—	28,775

(2) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別 当 四 半 期 平成 19 年 3 月期 第 3 四 半 期	前 年 同 四 半 期 平成 18 年 3 月期 第 3 四 半 期	増 減		(参考) 平成 18 年 3 月期
			金 額	金 額	金 額
売 上 高	28,018	28,232	△ 214	△ 0.8	37,892
売 上 原 価	24,785	24,793	△ 8	0.0	33,362
売 上 総 利 益	3,232	3,438	△ 206	△ 6.0	4,530
販売費及び一般管理費	2,349	2,293	55	2.4	3,116
営 業 利 益	883	1,144	△ 261	△22.8	1,413
営 業 外 収 益					
受 取 利 息	0	0	0		0
受 取 配 当 金	22	19	3		19
そ の 他	14	43	△ 29		47
計	37	63	△ 25	△40.7	68
営 業 外 費 用					
支 払 利 息	25	23	1		31
売 上 債 権 売 却 損	18	—	18		18
そ の 他	10	22	△ 11		14
計	54	45	8	17.6	64
経 常 利 益	866	1,162	△ 295	△25.4	1,417
特 別 利 益					
貸倒引当金戻入額	9	22	△ 12		25
投資有価証券売却益	239	—	239		—
そ の 他	—	0	△ 0		0
計	248	23	225	969.8	26
特 別 損 失					
固定資産売却損	4	12	△ 7		12
固定資産除却損	19	62	△ 42		70
減 損 損 失	—	173	△ 173		173
そ の 他	0	0	0		0
計	25	248	△ 222	△89.7	255
税引前四半期(当期)純利益	1,089	937	152	16.2	1,188
法 人 税 等	296	17	279	1,642.6	13
四 半 期 (当 期) 純 利 益	793	920	△ 127	△13.8	1,174

(3) 四半期株主資本等変動計算書

当四半期会計期間(自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 18 年 12 月 31 日)

	株 主 資 本								株主資本合計
	資本金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金			自己株式		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計	
					別途積立金	繰越利益剰余金			
平成 18 年 3 月 31 日 残高 (百万円)	5,115	4,886	4,886	419	2,100	2,296	4,816	△ 26	14,790
当四半期中の変動額									
剰余金の配当(注)						△195	△195		△195
四半期純利益						793	793		793
自己株式の取得								△ 3	△ 3
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額 (純額)									
当四半期中の変動額合計 (百万円)	—	—	—	—	—	598	598	△ 3	594
平成 18 年 12 月 31 日 残高 (百万円)	5,115	4,886	4,886	419	2,100	2,894	5,414	△ 30	15,385

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・ 換算差額等 合計	
平成 18 年 3 月 31 日 残高 (百万円)	1,882	—	1,882	16,673
当四半期中の変動額				
剰余金の配当(注)				△195
四半期純利益				793
自己株式の取得				△ 3
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額 (純額)	△306	0	△306	△306
当四半期中の変動額合計 (百万円)	△306	0	△306	287
平成 18 年 12 月 31 日 残高 (百万円)	1,575	0	1,576	16,961

(注) 平成 18 年 6 月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(4) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当 四 半 期	前年同四半期	(参 考)
	平成 19 年 3 月期 第 3 四半期	平成 18 年 3 月期 第 3 四半期	平成 18 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	1,089	937	1,188
減価償却費	374	352	489
減損損失	—	173	173
貸倒引当金の減少額	△ 9	△ 21	△ 25
退職給付引当金の減少額	△ 86	△ 12	△ 15
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)	△ 49	10	15
受取利息及び受取配当金	△ 0	△ 19	△ 20
支払利息	25	23	31
投資有価証券売却益	△ 239	—	—
固定資産売却益	—	△ 0	△ 0
固定資産売却損	4	12	12
固定資産除却損	19	62	70
売上債権の増加額	△ 68	△ 2,589	△ 1,225
たな卸資産の増加額	△ 121	△ 374	△ 502
仕入債務の増加額	988	2,292	876
未払消費税等の増加額	36	25	0
その他	△ 10	△ 147	△ 5
小 計	1,952	723	1,062
利息及び配当金の受取額	0	19	20
利息の支払額	△ 21	△ 19	△ 29
法人税等の支払額	△ 22	△ 24	△ 22
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,909	699	1,031
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 323	△ 425	△ 606
有形固定資産の売却による収入	3	1	1
有形固定資産の除却による支出	△ 6	△ 40	△ 41
無形固定資産の取得による支出	△ 144	—	△ 73
投資有価証券の取得による支出	△ 10	△ 604	△ 624
投資有価証券の売却による収入	—	0	2
関係会社株式の取得による支出	△ 1,616	—	—
その他	△ 5	2	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,102	△ 1,065	△ 1,338
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の返済による支出	△ 387	△ 537	△ 550
長期借入れによる収入	1,600	1,050	1,050
自己株式取得による支出	△ 3	△ 9	△ 13
配当金の支払額	△ 183	△ 184	△ 194
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,025	317	291
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	△ 0
V 現金及び現金同等物の増減額	832	△ 46	△ 15
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,668	1,683	1,683
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,500	1,636	1,668

・比較品目別売上明細表

(単位：百万円)

品 目		当 四 半 期 平成 19 年 3 月期 第 3 四半期		前年同四半期 平成 18 年 3 月期 第 3 四半期		(参 考) 平成 18 年 3 月期	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
仕 入 販 売	製紙用化学品	6,560	23.4	6,720	23.8	8,845	23.4
	電子材料	8,401	30.0	8,487	30.1	11,664	30.8
	機能性樹脂	4,593	16.4	4,193	14.8	5,689	15.0
	その他	1,203	4.3	1,219	4.3	1,674	4.4
	仕入販売 計	20,759	74.1	20,620	73.0	27,873	73.6
製 造 販 売	コーティング製品	2,678	9.6	2,380	8.4	3,231	8.5
	高機能樹脂製品	2,866	10.2	2,950	10.5	3,848	10.1
	ファインケミカルズ	1,123	4.0	971	3.5	1,322	3.5
	その他	589	2.1	1,309	4.6	1,615	4.3
	製造販売 計	7,258	25.9	7,611	27.0	10,018	26.4
合 計		28,018	100.0	28,232	100.0	37,892	100.0